

さくらだより



ギンヤンマの羽化 撮影:鬼頭隆尚

お酒は体に良いのか？悪いのか？

病院長 福田 修

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。今年の夏は熱くなることが予想されており、水分摂取、農作業の時間帯などにご配慮お願いいたします。

南魚沼市広報誌によれば、県内30市町村の中で、南魚沼市は最も長寿で、毎日飲酒習慣が最も多く、喫煙率が最も高いという結果でした。小生も近所で桜の花が咲いたとっては、ゴザがひかれ昼から花見会が急遽始まり参加しています。その中でお酒についての知識を以下に述べます。

1981年イギリスで“適量のお酒は体によい”ことを示す「飲酒と全死亡率のJカーブ効果」という考え方が発表されました。「全く飲まない」人を1とした場合の飲酒量ごとの相対的な死亡率をグラフにしたもので、その曲線が“J”の字になるためそう呼ばれています。調査結果を見ると、毎日適量（日本酒にして一合の半分ほど）飲酒する人は、全く飲まない人に比べ死亡率が低いものの、毎日大量飲酒する人は、冠動脈疾患による死亡率が極端に高くなっています。適量のアルコールは、ストレス発散、コミュニケーション改善、体が温まる、血液サラサラなど期待されますが、あくまでも「適量」での話でお酒に飲まれているようではいけません。まったく飲まない人と酒一合を飲む人の死亡率はほぼ同じでした。またJカーブ効果があるからといって、お酒を飲まない人にまで、お酒を飲むことを推奨すべきものではないので注意しましょう。飲めない人は、食道がんの危険度が増したりしますので、飲まないコミュニケーション技術を考えましょう。

健康獲得には、さよならホームラン、宝くじ当選はありません。日々の地道な努力、習慣により、これからの長寿社会を元気に生活しましょう。

病院理念

*私たちは「患者さんに選ばれる病院」「職員が誇りを持って働ける病院」を目指します。

基本方針

- *私たちは自己研鑽に努め、安全で良質な医療を提供します。
- *私たちはコミュニケーションを大切にし優しく説明・対応します。
- *私たちは救急医療からリハビリテーション機能、在宅医療まで安心できる診療体制を充実させます。
- *私たちは医療機能を整備し経営改善に努めます。

医師紹介



神経内科 他田正義

こんにちは。4月より、前任の小野寺理教授の後任として、神経内科の外来診療を担当しております他田正義（ただ・まさよし）と申します。東京の下町で生まれ育ち、秋田大学を卒業後、新潟に移り住みました。新潟県内外の病院で専門研修を積み、現在は新潟大学脳研究所神経内科の総括医長という立場で診療・教育・研究に従事しています。当院の他に、魚沼市立小出病院や新潟県立津川病院などに外来診療の応援に行っています。専門は脊髄小脳変性症ですが、日常の診療では神経疾患全般を診ています。この時期、緑豊かな南魚沼市は大好きで、魚沼グルメマラソンや八海

山登山マラソンに参加し、また、休日には家族とこの地域まで足を伸ばし、リフレッシュしています。

神経内科は、脳や脊髄、末梢神経、筋肉の病気を診る内科です。患者さんは、頭痛、もの忘れ、しびれ感、めまい、脱力、感覚障害、手足のふるえ、歩行障害、呂律不良、ものが二重に見える、といった症状で神経内科を受診されます。神経内科の代表的な病気としては、頭痛、脳卒中（脳梗塞、脳出血など）、認知症、てんかん、パーキンソン病、脊髄小脳変性症などがあります。近年の分子遺伝学的な研究の進歩に伴い、多くの神経疾患の病態解明や新たな治療法の開発が進んでいます。しかし、脳卒中と認知症は要介護度5の原因の半数以上を占めるなど、神経内科疾患を取り巻く医療・介護の社会的課題は今後ますます深刻化すると予測されています。今はまだ完全に治すことができない病気は多く存在しますが、私たち医療者は、できるだけ患者さんとご家族の視点に立ち、チームで患者さんとご家族を支えていけるよう、微力ながら努めていきたいと考えております。

プロフィール

新潟大学医学系研究科博士課程修了 医学博士
新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科学分野助教
専門：脊髄小脳変性症／パーキンソン病／筋委縮性側索硬化症(ALS)／認知症
毎月第2土曜日診察（受付 8:30～11:30）

第2病棟紹介

第2病棟看護師長 富所芳美

第2病棟は脳神経外科、胸部乳腺外科、整形・リウマチ科、消化器・肛門外科、神経内科の混合病棟です。

病気に侵された患者様とご家族の思いに寄り添い、これからの患者様の目標と一緒に考え、医師・リハビリスタッフとの連携を大切にしています。地域との連携では、医療相談員の力を借りて進めています。

一日でも早く患者様が住み慣れた環境へ帰れるようスタッフ皆で支援してまいりますので宜しくお願いいたします。





消防避難訓練実施

防火管理者 中島和彦

平成28年6月16日(木)に、今年度第1回目の消防避難訓練を実施しました。

当院では年2回、職員が模擬患者になり、消防避難訓練を実施しております。今回は夜間での2階の給湯ボイラーからの出火を想定し、放水による初期消火、通報、避難訓練と消火器の実技訓練を行いました。

非常ベルが鳴り、院内放送により避難を開始、消防署への通報、同時に屋内消火栓のバルブを開け放水を行います。

2階からの避難では、非常時にはエレベーターは使えなくなりますので、自力歩行が困難な患者さん(模擬患者)は、病棟の看護師が汗だくで担架や布団を使い、実際に人力で階段を降ろしました。

訓練終了後には、消火器を使用して操作方法を体験しました。

火災はまず発生させないことが大切ですが、万一の場合は、発生時の初期動作が重要となります。今回は火災に対する消防訓練でしたが、地震・水害等の災害では避難あるいは要救助者の受け入れが必要となります。いざというときに備え、人命をいかに守るかを考えて訓練を重ねていきたいと思っております。



AED・心電図モニター研修会開催

医療機器安全委員会

私たち医療機器安全委員会では新入職員や部署移動で医療機器に携わる機会がなかったスタッフへ機器の学習会を開催しています。どんな患者さんが入院してきても機械の操作が迅速かつ確実に実践できることを目的にしています。

実践を積んでも、焦るとできる事もできなくなる事があります。何度も何度も訓練することが必要です。研修は少人数とし、研修受講者の質疑がしやすいようにと考え開催しています。



齋藤記念病院 外来医師診察予定

診療科	月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科	福田 修	福田 修	福田 修	小山新弥	福田 修	福田 修	
胸部乳腺外科	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	
整形・リウマチ科	1診	藤原稔泰	藤原稔泰	藤原稔泰	藤原稔泰		完全予約制
	2診	池田三香	池田三香	我田由紀子(第3木曜日は除く)			完全予約制
神経内科	1診	田村正人					午前・午後診療14:00まで受付
	2診	小穴康功					第3火曜日のみ
	3診					他田正義	第2土曜日のみ

☆外来受付時間 午前8:30～11:30 ☆毎月第3土曜日を休診いたします。

☆診察日等に変更もございますので、電話にてお問い合わせ下さい。

☆胸部乳腺外科、整形・リウマチ科、神経内科は予約制となっております。お電話での予約又は変更等の問い合わせは、月・火・木・金の午後2:00～5:00の間にお問い合わせいたします。(☎025-773-5111)

齋藤脳神経外科 外来医師診察予定

診療科	月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科	齋藤有庸	齋藤有庸	齋藤有庸	齋藤有庸	齋藤有庸	第1土曜日 第2土曜日 第4土曜日	さいとう隆景 齋藤有庸 岩本俊彦
消化器外科 肛門外科	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	

☆外来受付時間 午前8:30～11:30 ☆午後の診察は行っていません。

☆毎月第3土曜日を休診いたします。

☆上記時間以外の救急診察は齋藤記念病院にご連絡下さい。

平成28年度休診日(日曜・祝日以外)

7月16日(土) 8月15日(月・お盆休み) 8月20日(土)

9月17日(土) 10月15日(土) 11月19日(土) 11月25日(金・開院記念日) 12月17日(土)

12月30日(金)～1月3日(火・年末年始) 1月21日(土) 2月18日(土) 3月18日(土)

お知らせ

お盆休みのため**8月15日(月)**を
休診とさせていただきます。

8月11日(祝)休診日・**8月12日(金)通常診察**

8月13日(土)通常診察・**8月14日(日)休診日**

8月15日(月)休診日・**8月16日(火)通常診察**



医療法人

齋藤記念病院

齋藤記念病院

〒949-6602 新潟県南魚沼市欠之上478番地2

TEL 025-773-5111 FAX 025-773-3024

病床数:118床/一般病棟70床、療養病棟48床

診療科目:脳神経外科、胸部外科、乳腺外科

消化器外科、肛門外科

整形外科・リウマチ科、神経内科

URL <http://www.saito-memorial.com/>
E-mail smh@mars.jstar.ne.jp

齋藤脳神経外科(診療所)

〒949-6603 新潟県南魚沼市川窪1158番地

TEL 025-772-2350 FAX 025-772-7557

診療科目:脳神経外科、神経内科、消化器外科

肛門外科